

❀ うどきたっこだより ❀

2024年冬版(12月~2月)

静岡市立有度北こども園

子ども達の元気な声に誘われたのか、小さな花や虫が少しずつ顔を出すようになりました。いよいよ春の訪れですね。
子ども達は進学や大きいクラスになる事を期待して待っています。

『まつぼっくり…カーン!』

1歳児あひる組

幼児組の園庭に遊びに行った時に羽根つきに興味を持ち、吊るしてあった羽根をミニラケットで打とうとするAくんとBちゃん。何度もラケットに当てる事ができ、保育教諭にも「すごい!」と言われ嬉しそうです。室内でも同じように羽根つきが楽しめないかなと考え、今度は子ども達がたくさん触れて遊んだことのある松ぼっくりや風船を吊るし、ラケットの代わりに持ちやすそうなしゃもじを用意してみました。風船に当たるとフワッと飛んでいくのに、松ぼっくりに当たると「カーン!」と音がし、その音がおもしろいようで当たる度に子ども達同士で顔を見合わせて笑っていました。子ども達が色々な素材に触れて“やってみたい”“おもしろい”“不思議だな”と思えるよう環境を用意して関わっていきたいと思います。



あたるかな～

カーン!
いい音だね



『ぼんたのじどうはんばいき』

3歳児 うさぎ組

この絵本に出てくる動物のお面をかぶり、劇ごっこを楽しみました。繰り返し絵本を読んでいくうちに話の内容を覚え、ぼんた(主役)や動物たちの喜怒哀楽の表情も表現しながらりきり…。段ボールで作った自動販売機に、手作りの葉を入れながら「王様の冠がほしい」とライオンが言うと、ぼんたの「ぼんたのぼんで すぼんたのぼん」の呪文で自動販売機から冠が出てきます。友達とのやり取りを楽しみながら繰り返し遊んでいますよ～♪

ぼんたのぼんた
すぼんたのぼん

こまった～

お友達を下さい

鬼からの手紙だ!

歯が痛いよ～



『でんでん太鼓、こわしちゃった…』

5歳児 きりん組

ある日、園庭の隅で“でんでん太鼓”を見つけた子どもたち。「これって鬼の落とし物じゃない?!」と驚いていると、後日『おれのこどものたいこをしらないか』という鬼からの手紙が…。そして運の悪いことに、鬼が落としたりでんでん太鼓を…壊しちゃった…どうしよう…。

みんなでたくさん考えて、鬼に謝罪の手紙を書き、でんでん太鼓を直すことに決めました! 「これで大丈夫かな…」と少しほっとしたのも束の間、『おれはおこっている。つかまえてやる』と怖い手紙が…! みんなでまた作戦を立て直し、再度手紙を書いたり、豆を作ったり、看板や隠れるためのお家を作ったりして当日に備えました。そして当日…。朝からイワシを焼いて“やいかがし”を作りました。これで準備万端! 今か今かと待っていると…鬼がきたー! 子ども達の表情が一気に強張ります。それでも小さい子を守るために必死に豆を投げ続けました。鬼がでんでん太鼓に気付いたところで、みんなで「(壊しちゃって)ごめんなさい!」を伝えることができ、許してくれた鬼たちと最後は笑顔でバイバイができました…! あ～よかった!! お腹の鬼もこれで退治できました❀

たいこ直るかな…

どうやって作ろう?

